

奥が深いです。ぼくのホームページですか？はい、初めての方からの問い合わせは多いです。5月、6月の結婚飛行シーズンには5人くらい、夏休みに入ると10人くらいの方が来ますね。アクセス数が多いのもこの時期で

すねえ。会話が増えたらアクセス数も急激に伸びて一、〇〇〇を越える日もありますねえ。僕らの会話を参考にしたりアリを飼い始めている人は仰山いてると思いますよ」と、潜在的なアリ病予備軍は多数いるというのだ。

ほんとうに危険!! 取材班スタツつもアリ病に感染!



では、と取材班ではアリの飼育を始めた。販売業者の安東さんにアリと飼育セット一式を用意していただいた。一つはムネアカオオアリという日本で一番大きいアリ(安東さん談)の女王様とまだアリになっていない子供たちである。もう一つ、クロヤマアリという一番普通のアリで、女王と働きアリ50匹ほどのもの。飼育ケースは、石膏にガラスが張ってあり、中のアリの様子が見えるよ

うになっている。付属した餌場に餌を入れると、アリが出てきて食べるのだ。これを2セット用意していただき、スタツフ2名が飼育を開始した。三村(23才女性)と五頭(38才男性)である。2ヶ月が経過し2人の様子を聞いた。

司会:さて、ちょうど2ヶ月過ぎましたが様子はどうでしょう?

三村:うちのキャメリ一家は、子供たちが5人になって、すつ

ごく可愛いですよ。フォンキー一家は、たくさんいてもう数えられません。卵もいっぱい!餌場を走り回っていますよ。

五頭:うちは、子供たちが世話してくれています。まあ、順調ですかね。かみさんは駄目みたいですね。仕事でなかつたら無理でしたね。

三村:あら、それは大変ですね。私は大好きですけどね、すつかり、はまりましたね。毎日、餌をあげています。

司会:餌が大変と聞きました。が、どうしてますか?

三村:私は、安東さんから購入した餌で、済ましています。いたって簡単ですよ。

五頭:うちは、蜂蜜や食事の残り、子供たちが庭で虫を見つけては餌にしますね。三村:餌を食べた子が、巣に戻ってほかの子に口移しをしますよ。これがもう、たまりません。テレビを見る時間が減っちゃいました。こ

ないだもチーフにニュースくらいチェックしろと怒られました。

司会:これは、かなり病気でですね。三村さん病気ですよ。ねえ、五頭さん。

五頭:そう三村、チェックは仕事中にするんだよ。そうじゃないと家でアリを見る時間が減っちゃうだろう。だいたいお前、個体数も数えられないんじゃないだろう。卵、幼虫、蛹も種類別に全部数えるんだよ!

司会:え、五頭さん。アリの世話は、お子さんがしてるんじゃない?

五頭:そうだよ。世話は子供がして、オレは観察をしているんだ。毎日3時間はいるな。今日だって、こんなことしてる暇ないんだよ!明日、子供とヨツボシオオアリ採りに行く約束してんだから。帰って準備しなきゃ。

司会:あれ、あれこれ...